

放課後等デイサービス事業 支援プログラム

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス事業所ほ～ぽ

作成日

2025 年

2 月

21 日

法人（事業所）理念		身体に重い障害を抱える、子どもから大人まで様々な方々の健康と生活を応援していきたい——。 以上をモットーに、弊法人はリハビリテーションの観点を含むあらゆる角度から障害児・者の健康と生活を支援していきます。		
支援方針		リハビリテーションと医療的ケアの提供を軸に、利用者のご家族の身体的・精神的健康をサポートしつつ、様々な可能性を引き出せるよう成長や発達に合わせた支援プログラムを提供します。		
営業時間		学校終了後 から 17 時 30 分まで / 学校休業日（夏休み等） 10 時 00 分から 16 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	ご家庭・学校と直接のコミュニケーションや連絡帳等を通して、利用日の体温、最終排尿・排便時間、発作の有無、様子等を確認し、来所後は職員による検温、健康チェック、手洗い（手指消毒）の促しで健康の維持に努めます。 食事・飲み物は持参していただき、それぞれの食形態にて個別に対応します。 医療的ケアが必要な方に対しては、ご家庭と綿密な連絡を行いつつ対応し、安心安全に過ごせるよう配慮しています。 下校後の利用の場合は、学校からの報告を受け、その日の体調や疲れ等状況に応じて支援を行っています。		
	運動・感覚	利用日には理学療法（PT）や作業療法（OT）の個別リハビリを提供しています。 PTでは、基本動作練習や姿勢の調整、変形や拘縮、痛みなど二次的な障害を予防、改善を行います。 OTでは、身体の使い方を練習したり日常生活に必要な道具（自助具）の提案をしています。		
	認知・行動	始まりの会や終わりの会、学校でどんなことをしたかの報告を毎回行います。 一日を振り返る習慣を持って頂き、興味や関心の向上につなげていきます。		
	言語 コミュニケーション	色々なコミュニケーションツールを活用し、意志の伝達ができるように支援していき、コミュニケーションの楽しさや信頼関係を構築していきます。		
	人間関係 社会性	利用者の仲間や職員＝家族以外の人々との関わりで集団生活に必要なルールを覚えたり、周りの人との信頼関係を築いていけるよう支援します。		
家族支援		発達の遅れや障害をもつ子どもの子育ての相談、援助をします。 保護者同士が子育てや悩みなどを共有できる場所を提供します。	移行支援	就学や進路について家族や関係機関と連携していきます。
地域支援・地域連携		学校・通所施設や医療機関など、関係機関との連携を行い、より良いサービスが提供できるよう情報共有を行います。	職員の質の向上	外部研修の参加、事業所内勉強会、症例検討の実施を行います。
主な行事等		初詣、節分、ひな祭り、進級式、水遊び、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会、卒業式などを中心に、利用者に良い体験になるようなイベントをフレキシブルに企画します。		